

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	42	—	事業名	高齢者日常生活補助事業	担当部課	福祉部 長寿課
------	----	---	-----	-------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える			
		施策の進め方					
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 加齢や認知症の進行等により、心身機能が低下した高齢者等に対して、生活環境の改善のため支援を行うことで、健康的な日常生活の維持を図る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の満65歳以上の市民等					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 日常生活用具給付事業	継続	④ 訪問理美容サービス事業	継続		
	② 紙おむつ助成事業	継続	⑤ 高齢者住宅改修事業	継続			
	③ 家族介護慰労金支給事業	継続	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算	/	/	/
決算				/	/	/	9,354
人件費(B)	千円	決算		/	/	/	716
総コスト(A)+(B)	千円	決算		/	/	/	10,070

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	事業利用者数	人	目標	195	211	216	160
実績				163	154	170	219	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 長久手市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画により目標値を設定。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・紙おむつ助成…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、東郷町 ・住宅改修事業…豊明市 ・家族介護慰労金支給事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町 ・訪問理美容サービス事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標値を上回っており、着実に高齢者等の生活の支援を行えている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後の急速な高齢化に伴い、現行制度では近い将来に財源不足になることが予測されるため、介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の導入に合わせた事業の見直しが必要と考えられる。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 支援を必要としている人に確実な支援ができるよう、制度の周知及び利用方法の改善を進める必要がある。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	日常生活用具給付事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な次のいずれの方 ・満65歳以上のひとり暮らしの方 ・満75歳以上の方のみの世帯 【内容】電磁調理器の購入費を1回に限り給付する。 (基準額41,000円)
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、安心して日常生活を送ることができるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				41
		決算				41

3. 活動推移

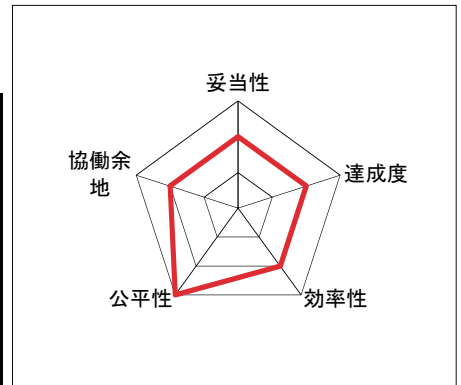
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	2	2	1	1	
		実績	0	0	2	1	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 高齢者等の経済的負担を軽減するため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	紙おむつ助成事業								
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】常時、紙おむつが必要な次のいずれにも該当する方 ・要介護2以上の方 ・介護保険施設に入所していない方 ・本人の所得が200万円未満の方 【内容】おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋等の購入金額の9割、年度上限額5万円までを助成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 介護者の経済的な負担が軽減され、高齢者等も衛生的な生活を送ることができる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				6,370
		決算				6,370

3. 活動推移

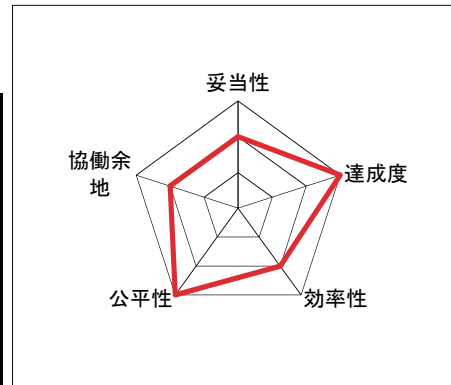
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
助成金支給者数	人	目標	145	155	160	125	
		実績	120	128	137	183	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
高齢者等の経済的負担を軽減するため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	家族介護慰労金支給事業								
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】要介護度4又は5の高齢者を過去1年以上在宅で介護している家族介護者で、世帯構成員の主たる生計中心者が市民税非課税者であり、且つ、要介護認定を受けた被保険者が、介護期間において法第40条に規定する介護給付を1年間受給していない方 【内容】年に1回100,000円の慰労金を支給する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 介護者の精神的かつ経済的負担を軽減する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				0

3. 活動推移

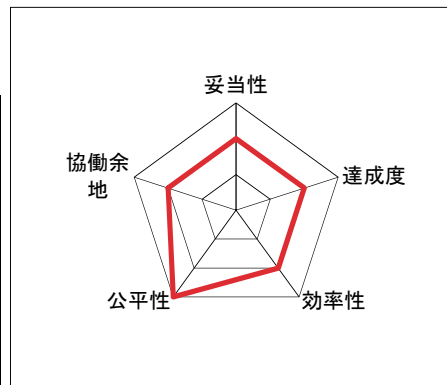
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	1	1	1	1	
		実績	0	0	0	0	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 近年、利用者数がない状態であるが、介護者の精神的かつ経済的負担を軽減するため、対象となり得る方への周知に努めつつ、今後も事業を継続する。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	④	事務事業名	訪問理美容サービス事業									
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 ・要介護3以上の寝たきり状態の方、又は65歳以上の認知症高齢者の方 ・身体障害者手帳1級（内部疾患障がい者を除く。）の方 【内容】 1回につき3,000円を助成（年間6回以内）
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自力で理美容院に行くことができない高齢者及び重度身体障害者（児）が衛生的な生活を送ることができるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				211
		決算				211

3. 活動推移

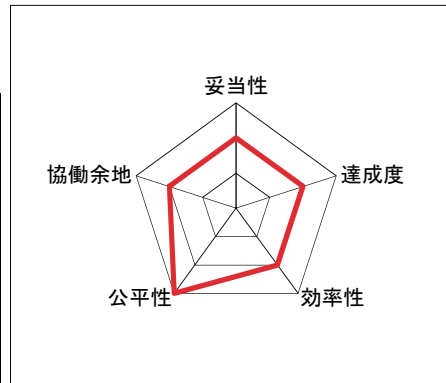
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	22	23	24	26	
		実績	35	19	26	26	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
高齢者等の経済的負担を軽減するため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	⑤	事務事業名	高齢者住宅改修事業								
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 次のいずれにも該当する方 ・ 65歳以上の方 ・ 改修する住宅に住居登録されている方 ・ 市民税非課税世帯 【内容】 手すりの取り付け、段差解消等の住宅の改修費用を30万円を限度に全額補助する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、安全に安心して快適な生活を送ることができる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,732
		決算				2,732

3. 活動推移

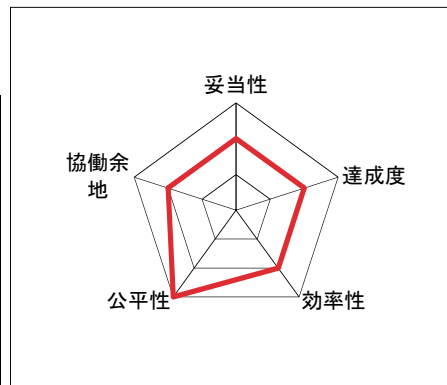
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
助成金支給者数	人	目標	25	30	30	7	
		実績	8	7	5	9	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 高齢者の経済的負担を軽減するため、今後も事業を継続する。
--